

特集 看護部

私たちと一緒に 働きませんか？

おいでよ川島会
長く働き続けられる職場とは
— 新長会 —

平成26年度事業計画
新遷析クリニック情報

第4回 川島病院 市民公開講座
2013-2014 Photo Report



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

社会医療法人 川島会

● 川島病院

● 横島川島クリニック ● 鳴門川島クリニック ● 脇町川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

● ケアハウス ● 在宅介護支援センター ● デイサービスセンター ● ヘルパーステーション

川島ホスピタルグループ広報誌 第12号 2014年9月発行 発行/川島ホスピタルグループ

〒770-8548 徳島市北佐古一番町1-39 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

企画・編集/川島ホスピタルグループ広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <http://www.khig.or.jp> デザイン・印刷/徳島/太陽高油印刷(有)



表紙写真：川島理事長の曾祖父である人形高こと本名川島高五郎は阿波木偶人形の言わば中興の祖であり、現在の制作技法を明治初期に徳島に導入し、確立させました。そして初代天狗久の師匠にあたります。表紙写真は阿波十郎兵衛屋敷で上演されている、「橋本阿波の喧嘩」のクライマックスシーンです。

(撮影/川内 勇喜)

Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

2 **私たちと一緒に働きませんか？**

おいでよ川島会 ~さまざまな人が様々な部署で働いています~

18 湯浅ナースのOP室日記

20 座談会 “長く働き続けられる職場とは” — 柳長会 —

28 事業計画

29 川島透析クリニック情報

30 **第4回 川島病院 市民公開講座** 元気で長生き ~健康寿命をのばす食事と運動のひけつ~

2013-2014

35 Photo Report

健康・福祉フェスタ・徳島ヴォルティス・慰安旅行・とくしまマラソン・阿波踊り・BBQ
忘年会・懇親会・免服体験車がやってきました

49 主たる行事

50 **BEST SHOT 今年の一枚** 写真：川島 周 理事長

51 2013年資料編



Kind 優しい

Honest 誠実な

Growing 伸びゆく

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎臓尿毒症と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。



私たちと一緒に仕事をしませんか？

●「おいでよ川島会」

～さまざまな人が様々な部署で働いています～

●「座談会 “長く働き続けられる職場とは”一師長会」

テーマは これからの話をしましょう

女性にとってフルタイムで働くということ

働きませんか？

特集

私たちと一緒に

川島会

看護部



ここ数年の川島会の成長に伴い、
看護師数も増えてきました。
工夫をこらして助け合い、日々の業務に手を抜かない
ナースの姿を目の当たりにし、
広報誌でも何かできないだろうか？と
考えたのがはじまりでした。

まずは地域の雇用の場としての川島会を知ってもらうこと
看護師にとって長く働き続けられる職場ってどんなところ？
考えてみよう、話してみよう
そうしてこの特集が企画されました。

院内保育園があり、手当も充実
子育てしやすい環境だと思います

看護歴10年
平成13年入職

近藤 恵

Megumi Kondo

外来看護師



現在にいたる簡単な履歴を
教えてください。

看護師歴は10年になります。新卒で2003年に入職し、病棟に配属となりました。結婚し長女を出産後、糖尿病療養指導士の資格をとりたくと希望し、外来へ異動になりました。長男の出産・育児休暇を経て、次男の出産後、復帰の際に週4日の時短勤務を知り、子育てと仕事をバランスよくできると考え時短勤務へ復帰し、現在に至っています。

現在の勤務、

どのような1週間ですか？

勤務の日は起床後、子供たちを送り出し、あるいは夫に託し出勤します。終われば児童館・保育園へ子供たちを迎えに行き、夕食・入浴・就寝まで慌ただしく過ぎていきます。平日の休みの日は子供たちを送り出し、平日の用事や家事をし、早めに子どもたちを迎えに行きます。土日は小学校・保育園も休みなので1日中子供たちと過ごします。

今の職場でいいなと
おもっている瞬間は、

院内保育園があり、手当も充実し、子育てしやすい環境だと思います。また、上司や同僚のみなさんが優しく気遣ってくれるので感謝しています。

今の職場、これからこんな風に
なつたらいいなと思うことはあれば

教えてください。

これからもどんどん女性にとって、仕事と家事育児をバランスよくできる環境をつくってほしいと思っています。

今から5年後、

どんな自分になりたいですか？

母としても、Nとして楽しみたい。

産石の結核はありますか？

無し

現在、近藤さんは

腎不全患者にとつての療法選択

と、透析開始における「療法選択」とは、

という研究に取り組んでいます。

それについて聞いてみました。

研究に至ったきっかけは

外来勤務中に患者さんと話しているうちに、療法選択について疑問・関心をもつようになり、所属している腎移植委員会から

のすすめもあり今年度の4月から研究を始め
ています。

目的は透析維持期・移植維持期の患者に対し、現在選択していない他療法について、どういった時期にどのような情報を望むかをアンケート調査し、導入期以外の療法選択・療法変更について検討することです。

現在の進行状況は？

研究をはじめたにあたって前調べを行い、研究計画書・アンケートを作成し、9月の倫理委員会に申請中です。

はじめての研究ですね

わたし1人では研究の進め方から何もわからない状態でしたが、サポートしてくれる先輩方、委員会の方々がいるので、相談し、アドバイスをいただき、ゆつくりではありますが進めています。

意識

育児をしながらの研究は大変そうに思うかもしれませんが、自分のペースで進めさせていただいているので、無理をすることなくできています。

なによりも、部署の主任をはじめ先輩方、委員会の方々のサポートが本当に手厚く、研究ができるのもそのおかげです。

まだまだこれからアンケート調査や集計などがまわっています。楽しみながらいい研究ができるよう勉強していきたいと思っています。



TAKE IT EASY

力を抜き、気持ちを切り替える

看護師歴19年
平成7年入職

3病棟主任看護師

藤田 都慕

Toma Fujita



いようですが、Drも気づくので何でも教えてくれるし、スタッフも明るくチームワークをモットーに仕事をしています。

また、看護実習生の受け入れも行っており、細やかな指導に心がけています。

毎朝、病棟の理念や病棟目標、今月の医療事故防止目標や接遇目標など全員で復唱し、ここでみんなが仕事モードに切り替え、そのあと入院や外来受診の報告、入院患者のカンファレンスを行っています。ここでは入院時の看護計画が適正であるかを話し合い、必要に応じて追加変更などを行い、看護の方向性の統一や情報共有の場になっています。

毎週火金に心臓カテーテル検査を行っているため、その前後の日に入退院があります。それ以外にも予定外の入院や時に心筋梗塞などで緊急の心臓カテーテルを行う事もあります。

毎週水曜日には、全員のDrと病棟スタッフが参加し、病棟カンファレンスを行っています。更に水曜日の午後からは、リハビリ室でDr、理学療法士とともに心臓リハビリテーションを行っています。ここでは多職種が介入し、指導教育するなど包括的リハビリテーションを進めています。夕方には心臓リハビリカンファレンスも行っており、意見交換を行いながら情報を共有しています。



今の職場でいいなと思うところは何ですか？

病棟で困ったことや問題となる事案が出ればすぐにスタッフや看護助手、クラーク含め話し合いの場を持ち改善策を講じていくところです。また、決められたことや自分たちで決めたことを継続して守り、行っていくところです。

当病棟では、スタッフの勤続年数に関わらず、皆が同じ知識を持って、看護が行えるようにスタッフそれぞれが自己学習を行い、その資料を持ち合い全員参加型の勉強会を定期的に開催しており、個々に仕事に対する向上心があります。

多忙である分、仕事での集中力は抜群で、お互いの声を掛け合いながら業務を行い、結束力が強い。仕事中はそんな感じで、ピリッとしたチームワークを大切にしています。仕事から離れば、みんな明るくて仲良しで、仕事のON/OFFでメリハリもあり充実感があります。

今の職場、これからこんな風に変わってほしいなと思うところはありますか？

現在の職場の状況を維持、強化しつつ、更に相手の気持ち（それは患者や患者の家族であったり、スタッフ同士であったり、他の職種の方であったり、接する人みんなに対し）を充分考えたり、汲み取ったりし行動できれば最強ですね。

今から5年後、どんな自分になりたいですか？

難しい質問ですね。自他共に認められるくらいに仕事がバリバリ出来て、患者スタッフに



現在にいたる前職の履歴を教えてください。

看護師歴は19年目になり、川島会には平成7年に入職し、透析室で3年間、次に1病棟、2病棟で結婚、出産、育児休暇を挟みながら約12年いました。平成22年より現在の3病棟に異動となり、24年より3病棟主任として現在に至っています。

川島会を選んだ理由は、看護学校の先輩が入職し頑張っていたこと。また、私が入職する年には、今では当たり前になっていますが、出産後、育児休暇を頂くことができるということが一番の理由でした。元々、仕事に対しては、結婚や出産などライフワークが変化しても続けていきたいと思っていたので……。

現在の職場、どのような1週間ですか？

3病棟は循環器疾患を中心に、主に急性期の疾患を対象とした病棟で、救急患者の受け入れも行っていきます。多いときには1ヵ月に70〜80名程度の入院があります。超多忙という時もしばしばありますが、Dr、スタッフともフラットワークが軽く、仕事スピードが、仕事終了時には達成感があります。

循環器というと難しそうと思われる方も多

座右の銘はありますか？

特にはありませんが、いくつになっても(看護師年齢が経っても)何事にも努力し続けることが大切だと思っています。でも時に思い通りにいかなかったり、疲れることもあります。そんな時は「HAPPY」を力抜き、気持ちを切り替えています。

その他

賞状に対して思いつくままに書いてみました。が、ほんやりと思っていたことを改めて考えてみる良い機会となりました。

川島会に新卒で入職し看護師、そして社会人として育ててもらい、支えてもらいながら、時に叱咤激励もありつつ、温かく見守ってもらいようやく一人前にして頂いたという感じですね。

この先いつになるかは分かりませんが、自分を育ててくれた先生やスタッフ、もちろん患者さんにも感謝ができればと思います。私が一人前にしてもらったようにスタッフを育て、いい医療や看護が提供できれば、最終的には患者さんにも恩返しができるのですかね……。まだまだ先になりそうです。

今までの経験とともに、あの入職した頃の気持ち、初々しさを忘れず、これからも川島会でがんばろうと思います。

**今の職場でいいなと
思っているところ**

1 透析看護は大変専門性が高く、難しい分野です。日々の業務や患者対応で疑問・不安に感じることが多いのですが、現在勤務している専門クリニックはベテランナースが多く、いろんなシーンでサポートしていただき、安心して仕事できています。

**現在の部署は
どのような一週目が**

透析室は透析開始のための準備（プライミング・グ・パリンの準備等）、透析開始（穿刺）、患者対応・バイタルチェック等、回収・次のシフトの準備と、1日2〜3回ターム（タームは毎日2ターム）で透析治療を行っています。単調な作業のように見えますが、体外循環治療を行っていますので、小さなミスが大きなミスにつながることもあり、常に緊張感を持って業務にあたっています。

2 透析看護は長期に継続的な支援が必要となります。糖尿病性腎症の患者さんが多く、心血管合併症を有している方も少なくありません。また長期透析患者特有の合併症・疾病だけでなく、生活背景に問題を抱えている患者さんもいます。様々なケースに合わせて多角的に看護していくことが必要で、言い換えれば、視点を換えることで様々な勉強もできることが、透析看護の魅力だと思っています。

3 ママナースの視点で考えると、透析室勤務は当直がなく、定時で終わる（週1勤務はありますが）、日曜日は休みとワーキングママには、強みのある勤務シフトです。私には小学2年生と3歳の息子がいますが、まだまだ手がかりが手すし、手をかけてあげたい時期です。透析室は育児との両立がしやすい部署だと思っています。



**現在にいたる簡単な履歴を
教えてください。**

川島会を志す理由

徳島大学医療技術短期大学部看護学科卒業し、医療法人尽心会亀井病院を経て、2004年に川島会に入職し、看護師歴は15年になります。川島病院では病棟、透析室を経験し、現在は専門クリニックに勤務しています。

川島会では糖尿病内科・循環器内科外科も併設されており、透析治療だけでなく、透析導入時の原疾患で最も多い糖尿病や循環器合併症についても詳しく学べると思いました。また、県下で初めての腎臓移植手術を施行した施設として多くの実績もあり、腎移植までの流れやその後のフォローアップ・看護についても学びたいと思い就職しました。



**今から5年後
どんな自分になりたいか**

「初心忘るべからず」です。看護師になりたてのときの思い、患者・家族の立場にたった看護思いやりの心を忘れずにいたいのです。本当に当たり前のことなんです。忙しく業務をこなしていると、時々、置き忘れてしまうことがあるんです。

座右の銘

「怒りは敵と思え」を座右の銘にしています。「相手に怒りを持てば、必ず相手も自分に怒りや憎しみを抱くようになる」ということ。怒るといふことは、結局自分自身を滅ぼす敵になってしまうものであるということ」

3歳の息子の悪ガキぶりについていらいらして、怒ってはばかりの毎日。この言葉を思い出して怒るのではなく、タイミングよく叱ることができるよう母親業も勉強中です。

「初心忘るべからず」
ママナースは育児との両立に奮闘中

看護師歴15年
平成16年入職

福永 輝美
Terumi Fukunaga

1階看護部 **湊 達弥**
 Tatsuya Minato 入職3ヶ月



Profile

湊 達弥
 川島市立川島高等学校
 看護科(3年制)
 川島市立総合高等学校
 (看護科3年)
 看護師(国家資格)
 看護師(クオリティ)

自分が成長できていると感じられる瞬間
 母親が看護師をしており、その影響を受けて看護師をめざしました。職場はみわたす限り女性なので緊張していません。怯える僕に、勇気づけてくれる声をかけてくれる働きやすい環境です。
 ナースマンとしては、女性の患者さんから「男の人はちょっと」といわれ、どう対応したらよいか、とまどうこともありますが、仕事にスムーズに進んだ時や患者さんに礼を言われた時は、とてもうれしい！
 今は「速さより、確実に」がモットーです。

2階看護部 **美馬 光**
 HIRAYI-MIMU 看護師1年 平成25年入職



HIRAYI-MIMU

看護師としてだけでなく、社会人としても手本になれる存在へ
 文理大看護学科を卒業後、新卒で入職しました。川島病院で働いている先輩や大学の先生から聞いたことがきっかけですが、エルダー制や新人研修の充実といった新人看護師にとって働きやすい環境がととのびていると感じる魅力を感じました。
 いつか「あなたに受け持ってもらえてよかった」そんな患者さんの心に残る看護師になりたい。
 五年後には、後輩を支える立場になっていると思う。それまでに、看護師としても社会人としても手本となる存在になれたらと願っています。
 「今日もがんばろう！」白衣を着ると、気持ちがあふくと切り替わります。

2階看護部 **松本 孝士**
 Takashi Matsumoto 入職3ヶ月



Profile

松本 孝士
 川島市立川島高等学校
 看護科(3年制)

看護師が足りなかったのが、自分自身が看護師になりました
 「勉強を怠らないこと」が目標です。
 以前の職場で看護師が足りなかったのが、自分自身が看護師になるべく頑張りました。
 実習で川島病院に来て、「病棟で使っていていただき、ここで働きたいと思ったのですが、実際二病棟に配属されました。女性職員が大部分の職場なので、何かと気を遣うこともありますが、それも勉強と思い、日々頑張っています。やりがいを感じるのは、患者さんが笑顔になったとき。

3階看護部 **福田 麻里**
 Mari Fukuda 看護師5年 平成21年入職



Mari Fukuda

先輩の看護師が丁寧に教えてくれる働きやすい雰囲気をもった職場です
 もともと透析に興味があり、家からも近いという点で川島会を選びました。
 新卒で入職し、透析室に3年半勤務の後、今の循環器病棟に移動になりました。初めての病棟勤務でしたが、先輩看護師は「から丁寧に教えてくれました。
 日常業務は担当患者さんのバイタルサインチェックや処置右記に加え火・金(カネ目)・カタ(カネ)入からカタ後の状態観察月・木は(カネ)前日・カタについての説明や準備
 その他、入院の多い病棟ですので、日々対応！
 これから知識、技術の向上を目指して、五年後には自分がそうしてもらったように、後輩に教えていける看護師になりたいです。
 スタッフは本当に丁寧に教えてくれます。来たれ、新人看護師！

Isam Fujii

2次検査医 藤井 功

平成14年入職



Profile

藤井 功
出身校: 川島総合専門学校
趣味: 野球、ゴルフ、スキー、
読書 (大塚寛子作品が好き)

薄利厚生がきっかけ
専門性が高いので勉強になる

入職して13年、男にしかできない事も多かったと信じてがんばって来ました。男性目線ならではの、気遣いもありません。

川島病院で同じ職種的女性に囲まれた職場で、ナースマンが増えていくためには、男女の違いを認識すること、その上で、男性看護師を育てていくことが必要です。

私はどちらかというと気が長い方で、じっくり人を育てたいし、サポートしていきたいですね。それが早期退職を防ぐことにつながるのでは。

川島会は福利厚生がしっかりしており、専門性が高いので勉強になります。

2次検査医 吉見 俊司

平成21年入職

Shunji Yoshimi



Profile

吉見 俊司
出身校: 群馬県立看護専門学校 看護学科
趣味: 野球、ライブ観戦 (観戦歴20年)
ゴルフ (最近始めた)

患者からの苦情や感情的になられたとき
冷静に受け止めるようにして

あなたの顔を見たらほっとすると言われた。
遂にお前が来たからイラッとすると言われた。どちらもある。
感情をおつけられたとき、適切に対応できるしなやかな心を保ちたい。

患者や家族が抱えている悩み・ケアの方向性や目標を、相談し解決できるようにすることが、慢性期看護の役割です。その点では男女の違いはないと思う。しかし患者との関わりの中で「精進」して気づくことですが、女性には強ひかなくていい。

男性看護師は少なく、一人で心細くなる時がある。
ナースマンがもっと増えたらいい。
活気がある今の病院で長く働きたいですね。

クリニック主任看護師 坂尾 博伸

平成2年入職



Profile

坂尾 博伸
出身校: 群馬県立看護専門学校
趣味: 読書、特撮が好き

女性スタッフがいることで
女性とは違った安心感をおもひがちなこと

私の短所はマイナス思考に傾きやすいところと想っています。職場にはさまざまな人がおり、患者さんの言葉ひとつひとつでも受けとめ方が違います。そういうことに気づかされるし、いろいろと助けられています。

細やかな心遣いや優しさという点では、女性にかなわないと感じます。男性スタッフがいることで、女性とは違った安心感を与えられるのかな。

過去の退職者からの噂が、川島病院のマイナスイメージとなっていると聞いたことがあります。残念なことですが、復職してくれる人もいますし、長く働き続けているひともあることを知って欲しい。

専門クリニック 小川 昌平

平成21年入職

Shohei Ogawa



Profile

小川 昌平
出身校: 群馬県立看護専門学校 看護学科
趣味: 野球、フットサル、読書、
ゴルフ (今はできていません...)

自分が成長できていると感じられる瞬間

研究も大事だと思うが、現場でどれだけ働けるかが重要だと思う。

川島病院では、最新医療・看護のスペシャリストになれる。また新人教育がしっかりしているのがいい。今後、途中入社の新卒ではない入職者に対するまめ細かなフォローも充実してほしい。

女性スタッフは細かいところの気づきを持っていると感じる。また男性スタッフにしかできないことがあるとも思う。

自分が成長できていると感じられる川島病院。
基本給が高く手当もしっかりしている病院です。

多数の症例患者さんと関わりを持てるのでたくさん学ぶことができます

看護歴23年 平成11年入職

1病棟看護師 射場 希実子

Kimiko Iba



川島会を選んだ理由
透析看護に興味があったこと、それと病院見学の時、対応して下さった職員の方々の印象がものすごく良かったんです。今でも鮮明に覚えています。
前職場では勤務しながら看護学校に通い、卒業後も8年間勤務しました。その後、川島病院に入職し15年目を迎えています。

業務内容
一病棟は急性期病棟で、毎日のように入院院や手術があり、多数の症例を経験することが出来ますし、さまざまな患者さんと関わりが持てることで、多くの事を学んでいます。
スタッフは新人看護師からベテラン看護師まで年齢層も幅広いです。仕事以外の相談にのってもらえることもあり、助け合いの出来るこ

う職場は魅力的です。
仕事と家庭と忙しい毎日ですが、入職して15年経ってこられました。
5年後は?
5年後の自分の年齢を考えると少しソツとしますね。日々勉強なので5年後も奮闘中だと思えます。

日々考えて、チームワークで予定をこなす

看護歴18年 平成16年入職

手術室勤務 湯浅 香代子

Kayoko Yussa



川島会を選んだ理由
川島病院への就職は友人に誘われたのがきっかけです。
透析、泌尿器科手術など、川島会の専門性の高い医療技術を、とてもいいなと思っていました。手術室勤務は今年で8年目場所や時間や器具や人、どうしたら効率よく働かせるだろうか？日々考えて、チームワークで予定をこなしています。

希望は
人員の確保

5年後は?

5年後の自分は、今の自分の積み重ね。看護師の仕事にやりがいを感じていたい...です。

座右の銘は
「初心を忘るべからず」

手術室紹介ページ
→18ページへ



「いやだなあ、面倒くさいなあ」と思うことは、さっさと計画的に

看護師歴27年
平成2年入職

外来主任看護師 **萩原 順子**
Junko Hagihara

Diary of the week 萩原 順子さんの1週間

MONDAY
月曜日

腎臓内科
泌尿器科
糖尿病科
循環器内科

新しい1週間の始まり。9時には予約患者さんの診療を開始します。
週末に具合が悪くなった方や、血液透析患者さんでアクセストラブルの方が予約外で多数来られます。アクセストラブルの場合には、担当医の診療で手術が必要となれば、早速に手術室と連携をとって予定を組みます。具合が悪かった方は、いろいろな検査を行い治療が開始されます。突然に入院が必要と判断される場合もあり、診療に気が抜けないのも月曜日の特徴です。

TUESDAY
火曜日

腎臓内科
泌尿器科
糖尿病科
循環器内科
循環器外科
カウンセリング

通常の診療に加え、内視鏡検査を行います。午前中は9時から「上部(胃)内視鏡検査」、午後は13時より「下部(大腸)内視鏡検査」を行っています。検査は「医師・看護師・看護助手」が連携しながら10件前後を実施します。決して楽ではない検査ですが、患者さんの不安や苦痛を少しでも軽減できるようスタッフが協力しています。
「思ったよりしんどくなかった、楽にできてよかった」とおっしゃっていただけることが、私たちの励みでもあります。

WEDNESDAY
水曜日

腎臓内科
泌尿器科
糖尿病科
循環器内科
消化器内科
外科
皮膚科
眼科

泌尿器科診療の特徴は「カテーテル交換」です。様々な疾患によって排尿障害がある患者さんの定期的なカテーテル交換を診療中に行います。車いすで来られる方の移動や、ご自分では更衣できない方などの介助は看護助手さんと協力し、患者さんの負担が少ないように注意しています。患者さんの中には意思疎通の困難な方もいらっしゃいますが、声掛けを忘れず笑顔で対応することを心がけています。

THURSDAY
木曜日

腎臓内科
泌尿器科
糖尿病科
循環器内科
呼吸器科
皮膚科
整形外科

循環器科診療で最近増えている検査が「冠動脈CT検査」です。高性能のCT装置で冠動脈の病変を検索するために、造影剤を使ったCT検査を行っています。これまで冠動脈の病変を見つけるためには「心臓カテーテル検査」を行う必要がありました。この検査は患者さんの負担も大きく、入院が必要でした。しかし、冠動脈CT検査ができるようになり、簡便に病変の検索ができ、また患者さんの負担も少なくなりました。

FRIDAY
金曜日

腎臓内科
泌尿器科
糖尿病科
循環器内科
呼吸器科
泌尿科

「禁煙しよう」と思った患者さんの診療・支援を行うのが禁煙外来です。専門医とこれまでの喫煙習慣や依存度を振り返り、これからの禁煙に向けて治療薬の選択・禁煙方法を考えます。喫煙は悪性腫瘍やCOPDなど身体に対する悪影響が大きく、また家族への受動喫煙も問題となります。
これらの問題を専門医とともに克服した患者さんも大勢いらっしゃいます。「禁煙成功」を目指して、患者さんとともに取り組むのが禁煙外来です。



心がけていること
「いやだなあ、面倒くさいなあ」と思うことは、さっさと計画的に。期限は必ず守るようにしています。

勤務は?
川島会へ入職して今年で24年目になります。これまでに勤務していない部署は、専門クリニックと臨町クリニック、それと新築移転後の鳴島クリニックです。あとは全部回りました。循環器科が一番長く居たと思います。

5年後は?
5年後は54歳。元気に働けていければいいですね、生活習慣病に気を付けなければ。
看護師としては、自分の経験を活かしてスタッフの指導・教育に携わりたいと思います。

川島病院のこれから
若い看護師がもっと増えて、チャレンジ精神の旺盛な看護部になって欲しい。
この企画がきっかけになって、私たちが一緒に働いてみよう、川島病院でこんなところって思ってくたさる方がいてくれたらうれしいです。どうぞ見学に来てください。
お待ちしております。

座談会 長く働き続けられる職場とは

これからの話をしましょう



平野 春美
(昭和32年生まれ)
1983年(昭和58年)川島病院入職
2013年より川島病院総合診療科
領島南東郡第一中村出身

看護師不足の要因と 解決策の工夫

—現在の全国的な看護師不足の一番の要因はなんだと思われませんか？

大下 2006年(日18)の診療報酬改訂で、看護基本料金が変更されました。国公立などの病床数が多い病院は、診療報酬の高い7対1看護を申請するために、看護師獲得に力をいれました。徳島も例外ではなく、年齢制



また川島病院が、腎臓泌尿器科、循環器科、糖尿病、糖尿病といった専門病院であることで、若干敷居が高くなっていると思います。

—それで救急、内科外科一般を確保しているような病院に魅かれてしまうということではないですか？

三宅 そうかもしれません。ですが専門病院といっても看護は全人的なものですから、慢性期疾患の患者が多い川島病院は、多くのことを学べる病院だと思います。何が何でも救急をやりたいという人ばかりでなく、慢性期疾患の看護をやりたいという人もいますし。聞答 私も7対1看護の政策で国公立病院へ看護師が集中したことが、一番の原因だと思います。それと看護師の不規則な勤務形態は、家庭を持つと続けるのが難しくなることも原因かもしれません。ですが、いずれ民間病院に看護師が戻ってくる時がくるでしょう。大学も看護科をたくさん設立していますし、一度退職しても再入職する方も出てくるのではないのでしょうか？



大下 千鶴
(昭和33年生まれ)
1997年(平成9年)川島病院入職
2011年4月より看護部長
徳島県上勝町出身



三宅 直美
(昭和43年生まれ)
1985年(昭和60年)川島病院入職
2011年より川島クリニック
(徳島・藍町地区)看護部長
徳島県東牟婁郡出身

限のあった国公立病院は年齢を引き上げ、受け入れ窓口を大きく広げました。その結果、新卒の看護師のみならず、すでに働いている看護師まで国公立に流れました。現在も7対1看護の病院は、それを守るために看護師を募集しています。その当時2人程、当院から転職して行きましたが、多いところでは7人、8人と、まとまった転職者が出たと聞きました。

—対策として、さまざまな工夫をされていますが、

大下 まずは川島病院を知ってもらうことから始めました。当院は俗にいう一般病院ではなく、専門性の高い病院です。そのため知る人ぞ知る有名な病院ですが、学生にとっては知る機会が少ない病院だと思います。そこで看護学校を回り、病院のアピールをしつつ、併せて今の学生が何を基準にして勤務先を選んでいるのかりサーチをしています。昨年は病院の看護部ホームページの充実も図り、教育制度や先輩の1日、また動画も載せて広報に力を入れました。同時に看護部紹介

未来と川島会の魅力

—そのときに、わが川島会を選んでもらうためには、これからどうすればいいかと6月に「医療職員採用向上委員会」が発足しました

平野 はい、医師を除く医療関係職員の採用について考えるための「医療職員採用向上委員会」が発足しました。

—平野さんはメンバーの1員ですね。平野 そうです。委員会はこれからの川島会を担う次世代の職員で構成されており、「言い」と、「医療職員の採用計画策定」と採用活動」を行います。これまでは職員獲得のために理事長をはじめ先生方や看護部長、副部長が学校訪問や就職ガイダンスにかかわってこられましたか？

—どの部署にどのくらい職員が必要で、今は不足しているから、こういう人を雇いたいとか、意見をまとめて、施設訪問もしたりするわけですね。



藤井 真理
(昭和31年生まれ)
1986年(平成10年)川島病院入職
2011年より看護部長
徳島県東牟婁郡出身



西分 延代
(昭和30年生まれ)
2004年(平成16年)就職
看護部長
赤良山出身

介のパンフレットを作成し、今年には看護部通信も開始しました。学生達がそれを見て、こんな職場なら働いてもいいかな？ と二人でも思ってくれば有り難いと思います。病院を知ってもらうために、看護学校の講師も引き受け、授業中？ に病院の良いところ、イマイチなところ(笑)を話しています。就職ガイダンスにも参加して努力はしているのですが……。

—今の状況を、どう思われますか？

大下 人員確保に苦しんでいます。しかし、今年の診療報酬改訂で7対1の施設基準が厳しくなりましたので、もしかすると7対1を継続するのが難しくなる病院が出てきて、今までのように看護師を採用しなくなるかも知れません。

—すると、その分どこかへも目を向けてくれるのでしょうか？

園分 期待はしますが、若い看護師はいろんな診療科を経験したいという思いがあるようなので、総合病院、国公立など規模の大きな病院を希望する人が、やはり多いでしょうね。



平野 あと新人教育にも携わっています。もちろん先輩方に指導をいただきながらではありますが、委員会メンバーで頭をひねり、先輩方の苦労も知って、試行錯誤を繰り返す委員会です。

—そうやって自分たちの病院の未来を創っていくんですね。施設訪問でアピールしたい川島会の魅力は？



西谷 千代子
(昭和39年生まれ)
1982年(平成元年)入職
2008年より看護部長
徳島県東牟婁郡出身

関人/日下 家春(広報委員長)

これからの話をしましょう



大下 そうですね、看護師といっても、一人ひとりが背負っている事情、家庭だったり、体調だったり、人によりさまざまな事情を抱えています。また、長く働き続けても年を取るとできなくなることもあります。だから働き方もさまざま、勤務形態やできる仕事も一律ではありません。川島会看護部では、それに対していくつかの選択肢を用意することができると思うし、そのことを知っているかと思っています。

——あつ、それって今回のテーマである、長く働き続けられる職場とは？ の答えの一つではないですか？

大下 しかし、何もかも叶えてもらえらると思

格を目指すスタッフもいます。

——2病棟はどうですか？

藤井 主に救急受け入れを担っているのが3病棟です。現在は1、3病棟で時間外外来も診療していますが、今後は3病棟ですべて診療するようにしたいのですが、業務的にも効率が良いのではないかと考えています。看護師配置に関しては、病床数が増えるわけではないので、現在の人数のままになるかと思

解されては困るのです。労働の対価としての報酬は数字としてはつきり比較できるし大事なことですが、けれども、川島会はそれだけじゃないよって言うか……、そこをもっとアピールしたいんです。

——未来の可能性？

大下 たとえば川島会スピタルグループは、サテライトを有する透析施設、臨町での糖尿病外来、川島病院での外来薬毒(腎、泌尿器疾患、糖尿病、内科一般、消化器内科、循環器疾患、皮膚科、歯科)、手術室、地域連携、急性期病棟、慢性期病棟、循環器病棟、フットケア、NST、学術研究などなど、ナースであればこそ選択できる部署が多岐にわたります。そして動いているうちに自分の適性、資質、能力にあった仕事場を見つかる余地があると思うのです。また、自分の進む道は自分一人のものではなく、家庭を持ちたり、家族の事情で方向転換せざるをえないときもあるでしょう。一時期、家の近いサテライトクリニックで働こうとか、時短勤務や週4日常勤勤務を利用したいとか、退職したけれども復職したいとか、そういう選択肢が川島会には結構あるということなのです。

——これからどうしていきましょう？

大下 県内だけでなく、県外からも就職してもらえようとしたんです。そのために、できればワンルームマンションを寮にするとか……。ハード面はともかく、今いる看護師が働きがいを持って動いていてくれれば、新しい人が集まってくるのではないかと思います。ですから、現場看護師の満足度をあげられるようにサ

ポート体制を強化し、選ばれる病院にしたいのです。

各部署の現状と課題点

——各病棟の現状を教えてください。

四分 1病棟でしか学べないものはやはり腎移植でしょうか。術後の管理は、感染予防、確実な薬剤の投与、観察、精神的関わり、嚴重なIN、OUTの管理などがあり、非常に勉強になると思います。その中でも、「あれ、なんか変だぞ」という異常をとらえる目を養い術後も安心して任せられるような看護を心がけます。

——2病棟はどうですか？

四分 2病棟は1、3病棟に比して、高齢の長期入院の患者さんが多いです。寝たきりで通院困難、合併症による整形手術後のリハビリ目的、透析導入、糖尿病教育入院などを目的の患者さんが対象になっています。退院できる人には退院に向けた援助、病状的に退院できない患者には、少しでも入院生活が苦痛にならない日々を送ってもらえるようにするのが、私たちの役割です。

2病棟で勤務している職員の中には、褥瘡予防や安楽な姿勢の取り方、適切な食事介助などの基本的看護を追究している看護師もいます。また糖尿病教育入院もありますから、糖尿病に関する知識を深めていく機会も多いと思います。2病棟で勤務している間には、糖尿病に興味を持って療養指導士の責

が、現在の入院患者の状況に加え、さらに時間外外来薬毒全般を担うのは難しいと思えますので、今後の課題になっていくかと思えます。

——全病棟の病床運営上の目下の課題は？

藤井 今年の診療報酬改定で、長期入院の透析患者も入れて平均在院日数を計算するようになりまし。10対1の入院基本料を算定するためには、平均在院日数を21日以内に抑える必要があります。その条件をクリアしながら、入院を要する患者さんをスムーズに受け入れ、治療ベッドを回転させていくのは、多くの透析患者の高齢化という状況下では以前より難しくなっています。限られたベッド数で入院をうけ入れ、的確な判断のもとに治療を行い、早期に在宅へ移行できるように、スタッフにはお願したいと思っています。

透析室の視点から

——透析室は、どうやっていきましょう？

平野 この6月末で患者数が1026名になり、本当に驚いています。ベッド調整も非常に複雑になってきました。来月1月に160床を有する透析クリニックが開業されます。ここに期待されるものは、非常に大きいと思うので身の引き締まる思いですが、楽しみでもあります。今後さらに、臨床工学技士との連携を密にし、業務改善していかなければならないとこもだと思っています。

——サテライトクリニックは、どうやっていきましょう？

三宅 私自身は臨町在住で週2日臨町、週3日臨町に勤務しています。職員は県西部に住む人が多いですね。透析は究極の慢性期看護です。透析室では、患者さんと生のお付き合いとなる場合が多いですから、つかず離れず、相手が必要な時に看護師として患者の人生の療養生活のお手伝いができればと思っています。それは難しい指導をすることも、ときには一緒に泣くこともあります。人対人と思っています。状況的には臨町クリニックも同じだと思っています。

退職するには理由がある

——長く働き続けるために、大事なことってどんなことですか？

三宅 これは看護師に限らずですが、たとえば家庭で問題が起きたとき、病気になるたとき、職場でつらいんだ……と、正直にいえる人がいるかどうかも大事ですね。

四分 以前早い段階で、その人が抱えている悩みを知ることができ、不安を押し上げ、一緒に考えていくことで、少しでも楽になり、乗り越えてくれたのかなどという人がいました。できるだけ声をかけるようにしていますが、職場のスタッフみんなが同じように支えていけたらいいですね。

大下 そうですね、男性看護師が入職したとき、先輩の男性看護師がいる部署に配属できなかつたために、数ヶ月で辞めてしまったことがありました。同性の看護師がいる部署に配

女性にとって、フルタイムで働くということ

これからの話をしましょう



属されていけば、少し考えも変わっていたかも知れませんが本人に尋ねると、そうかも知れませんが、この返事が返ってきたときには、考えさせられました。

園分 遠析先は男性にとっても働きやすいようにも感じられるのですが、増えたいかない現実から、何か対策が必要なのかなと思います。
園谷 増えて欲しいです。看護学校の男子比率からしても増えてくるのではないのでしょうか。

——就職してもすぐ辞めてしまうって結構聞きますね。復職という道もあると思うのですが。

園谷 辞めてしまうことは止むを得ないと思います。自分の看護観と違ったり、ハードな業務なので、自分だけではどうにもならないこともあります。

平野 就職するには心構えや覚悟も必要だと思えます。しかし、業務についていけないと感じるときは、とにかく話を聞いてあげると姿勢が大変だと思っています。理由は結婚や妊娠、家族の介護などさまざまあるとは思いますが……。

園谷 けれども復職してくる人もいるところをみると、いいところもたくさんあるんじゃないかな。

園分 私も復職した経験がありますが、迷惑をかけて辞めているので、復職はかなり抵抗があります。何かのきっかけがないと難しいですね。

平野 何かの事情で一旦辞めたけれども「やはり川島病院が良いな」と、復職したスタッフ

女性にとって、フルタイムで働くということ

面分、やはり大変ですね。家族と一緒に生活している人には、家族の協力が不可欠です。

大下 独身なら自分を中心に仕事もできますが、結婚して子供が生まれると、身内の応援がなければフルタイムで働くのは結構しんどいことだと思います。もちろん、職場が協力的な姿勢を示すことも必要ですね。

三宅 まわりの協力、理解が必須ですね。

もいます。育児休暇の後、止むを得ず退職してしまつたスタッフについては、そろそろあの人の復職できないかなかと、連絡を取ってみるのも良い方法かと思えます。

園分 何事も「石の上にも3年」だと思つています。3年続けば、継続して働き続けられると思えます。新入職者にも、常にこのことを伝えていきます。最近の看護部は、優しく教えるようになってきているので、人間関係で退職するケースは減ってきていると思います。

三宅 現在は、パートや子供の就学までの時短勤務が認められているのですが、以前はなかったため、子育て優先ということでも辞めていきました。研修、学会参加など、勤務時間以外の時間拘束で、続けていくことが難しくなったケースもあります。何事も一生懸命ですが、仕事と家庭の両立に対し、バランスをとってあげられたらよかったですね。

園分 すごくよく分かります。私も夫や子供に、かなり負担をかけています。忙しく働いて帰っても、家族は単に帰りが遅いと不満げです。空しくなることがあります。職場に家の愚痴を話す仲間がいて、共感してくれることで救われることもあります。

——話せる同僚や配属してくれる上司がいるというのは本当に幸運なことですね。職場でも私生活でも特に問題なく回っている時はそれでいいのですが、前車のごまがずれたかなというときに、幸運に頼るだけではなく、システムとして職員を守る何かがあればいいと思います。子育て中の時短勤務や週も日勤務、介護休暇などを活用できることはとてもいいと思います。

園分 看護学校卒業後、育児休暇で仕事を離れた以外は、ずっとフルタイムで働いてきました。効率よく家事をこなすことも学べたと思います。どうやれば早く片付いて、自分の時間が持てるか……、常に考えて動いていたような気がします。けれども子育てをする中で、もう少しゆとりを持つて育てたかった、そんな心残りがありません。

平野 家族の理解や協力がなくては、助まらないと思います。子育て中は、私も家族との時間を我慢してきたことありますね。

園谷 得るものも多いけれど、失うものもある。両親や姉、主人など家族の協力なくしては、やり進められない。子供を犠牲にしないためにも周囲の支援が必要でした。

——皆さん、大変だったこともあるけれど、続けることを進んで、実際続けてくることでまたということがありますね。

園分 私は人間が働くということ、生き生きとした人生を送るために必要だと思つていきます。労働の対価としての報酬を得ること、やりがいを感じ自分成長させてくれることが、そういう人生につながるかと。

大下 そうですね、働くことで社会と繋がりが、社会貢献できていると感じられる。また、生活の基盤となります。

園分 確かに、これまで働き続けてこられたのは、家族のフォローがあったかと思つていますが、子供たちには、我慢も強いてきたかと思つています。けれども今の若い人たちには、私たちが子育てをしてきた時代と比べると、今は恵まれた環境にあるということを知ってほしいと思います。仕事に対する姿勢や気持ちの持ち方の違いでしょうか。私は仕事があつて、その





女性にとって、フルタイムで働くということ

上に家事・育児があると思ってしまう。少し厳しい意見なのかもしれませんが……。

西谷 職場にしても、家庭にしても完璧を求められても困るし、応えることはできません。ただ、人の命を預かる職業でもあり、仕事は資金という報酬をいただいている以上、時には家庭を犠牲にしていることも往々にしてあります。もし、大抵事が来たら母さんは、あなた達の所へすぐ駆けつけることはできないかもしれない。母さんは病気の人の世話をしているから。その時には着ちかん着ちかんの所で待っていて子供が幼い頃よく話していました。

川島会の福利厚生について

平野 あつて良かったと思うのは、賞与が3回あること。海外の観光旅行がある。私たちの時代にはなかったですが、今は育児休暇がありますね。

藤井 川島会併設のあすか保育園では勤務時間に合わせて預けられます。最近、大病院では育児休暇も3歳までとするなど、長期に取得できるようになっています。看護師数が不足している現状での課題としては厳しいですが……。他の病院の状況を知ることにも必要かなと思います。

三宅 勤続10年、20年のリフレッシュ休暇はありがたいですね。しかし30年がないのは辛いですね。(笑)

平野 ほんと、私たち30年頑張ってきました

さんが働いてもらって来たんだよってなる。

西谷 家族を労うサービスマンです。——そういうのは必要ない人もいるんですけど、忘年会の最中でハイビジョン液晶テレビが当たって嬉しい人もいますし、ダスキンお掃除サービスが当たって嬉しい人もいますね。

定年まで続けられそうですか？

西分 定年まで働ける職場は理想ですね。そのためにはいろんな選択肢がないと難しいですね。それは時間であったり、仕事の内容であったり、人間関係であったり……。難しいですね。

平野 看護学生の時から川島病院でお世話になってる限り、この病院で定年を迎えられ

し、1週間くらいのリフレッシュ休暇いただける。よし、また頑張るぞって気持ちになりますね。

西分 今年、初めて10年表彰で1週間の休みがとれます。いつ取ろうかと楽しみにです。毎年とは言いませんが、1週間、気兼ねなく休みが取れるような制度ができたら嬉しいかな。福利厚生とは若干違いますが……。

西谷 観光旅行も家族で参加できたら、もうと参加しやすくなるかもしれません。以前に一度、家族でグアムに行かせてもらった時(家族の費用は自分持ちです)と心置きなく楽しめました。幼子を置いてハワイに行った時、罪悪感にさいなまれました。

大下 あつたらいいなと思うのは、職員食堂の充実です。「タニタ」とまではいかなくても、遅くなる食事がほしいんです。そんなに多くなくていいので、メインが2〜3種類から選べて、サラダバーがあれば嬉しいです。

三宅 私も職員食堂の充実。タニタ食堂のような栄養管理や、シェフが作ってくれる、食事を楽しくできたり、コミュニケーションの場としていただけるとうれしです。

——そうですね、食事は大事です。家族の食事も大事。私は仕事帰りに食材(徳島県産下(しらね)を買って帰れるコーナーが院内にあつたらどんなにいいかしらと思ってるんです。ホウレンソウのゆがいたのや、衣つきのピルカとか。その日はスーパードラッグで済んで、しかも出来合いの惣菜ではないので、余程ももって家に帰れる気がします。

西分 いいですね、食事に主婦は一番努力を使

いますから。

大下 それは驚かすかも知。クランク、事務系も女性が多いですし、それから共働き男性職員で料理をする人はいますから。

三宅 同感です。タイクアウトはいいですね。西分 主婦のゴールデンタイムの夕方は10分でも貴重です。

——で、川島会の観光旅行は充実していると思うのですが、家庭で主婦をやりがら、2〜3日家を留守にして、帰ってきたら家の中がとらわらぬ状態になっているのはね。

西分 しんじい。

平野 同感ですよ。何かなくて済むサービスがほしいですね。

藤井 ……あれはうれしいですが……。西谷 先日、テレビで見ましたが、そういう会社が実際ありました。お弁当をとったり、帰りに惣菜やはかはか弁当を買って、慌てて帰る職員も多く、こんなことが実現したら最高ですね。

西分 あと、たとえばダスキンとか。

——衣食住の住ですね。西分 あるかどうかわかりませんが、仮に、ダスキンチケットなるものがあつて、何かの手当としてそれをもらえて、水回りとかピカピカにしてもらえたら……。嬉しい。

——家族も嬉しいですよ。それがお金がたつたら、掃除は自分でやって他のことについて、なるんですけど……。ダスキンなんてぜひ使いたくどか言っています。

西分 そうそうそう。——福利厚生でダスキンを利用できたら、お母

るなら、それは最高のことだと思えます。しかし、年々仕事量は増えている中で、更年期を向かえ体力的にも、精神的にも辛くなりそうなの時もあります……。体力には自信があるので、価格はガツチリしていますが、繊細な部分もあるんですよ。これほんと。

三宅 体力的には、だんだんと衰えてくるので、透析室ではとくに辛刺はきついかもありません。しかし、長く経験値を積んだ看護師はそう多くはないので、透析看護は慢性疾患のスペシャリストであり、新たな業務という患者の聞き役、患者家族の聞き役、在宅調整コーディネイトを担うことで、定年までもしくはそれ以上いけると思っています。

大下 寝たきり看護師にならないように、自己研鑽が必要な病院だと思えます。でも家庭状況により、また、年齢と共に働き方を変えても良い病院ですから大丈夫だと思えます。

川島透析クリニック情報

平成27年1月竣工予定で、着々と工事が進められています。

【特徴】

- 免震構造で津波対策も施した災害に強い施設づくり
- 最新の全自動透析装置を備えた同時透析160床(予定)
- 新透析クリニックに隣接する立体駐車場完備
- ゆとりのある透析室と快適な待合室



7月



5月



8月



6月

平成26年度 川島ホスピタルグループ 事業計画



1へき地医療の支援
引き継ぎへき地診療所に医師派遣を行い、へき地における医師確保に貢献する。

2診療内容の充実
①免震構造を持つ新クリニックを平成27年春に開院する。
②対外関係の強化、市民公開講座をはじめとする広報活動、各クリニックでの外来診療強化による診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。
③各職種が参加する認知症対策委員会を設置し認知症対策の推進に取り組みとともに、認知症関連の学会、研究会への積極的参加を推奨する。
④各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

3透析患者の確保
①臨町川島クリニックの医療スタッフを充実させ、通院を希望する透析患者の受け入れを図る。
②通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。
③徳島県の腎疾患対策事業に協力することにより、腎臓病外来の充実に努める。

4川島病院の構造設備の改築
保有病床(123床)の有効利用と今後10年間の診療の質と量の変化に対応できる構造設備を検討し、平成27年度の病院改築を目指す。

5クリニックにおける地下水取水
臨町クリニック及び臨町クリニックにおいて地下水を利用できるよう改築を行う。

6不当要求防止対策の推進
①KHGクレーム対策マニュアルを周知徹底する。
②不当要求行為の防止に関する研修会を実施する。

7歯科診療による患者ケアの充実化
①全身疾患を有する患者の歯科治療を実施する。
②入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応を行う。

8災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進
①大規模震災を想定しての定期的対応訓練及び災害に備えての準備を実施する。
②各種手順やマニュアルの周知徹底及び実行を推進する。
③対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育を強化し充実させる。
④震災対策会議を開催し内容を二層充実させる。

9教育・研究活動の強化と支援
①新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容を充実させる。
②KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。

会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。

③KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加を奨励する。
④院内学習会を定期的に実施し、部署ごとの勉強会、抄読会を積極的に行う。
⑤部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価を行い、改善のための指導を実施する。
⑥部署、委員会における研究および活動テーマ発表会を実施する。
⑦業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援を実施する。

10地域社会との交流や関連施設との連携の強化
①健康福祉フェスタを実施し内容を二層充実させる。
②震災対策会議を開催し内容を二層充実させる。(再掲)
③広報紙を継続発行し内容を二層充実させる。
④ホームページの内容を充実させタイムリーに更新する。
⑥関連病院間や診療連携会議へ積極的に参加する。

11働き甲斐のある職場環境の確保
①チーム医療を推進する。
②業務上の成果、努力を人事考課へ正當に反映させる。
③職員の職場労働安全衛生対策を推進する。
④職員に対する福利厚生を充実させる。



第4回

社会医療法人

川島病院 市民公開講座

元気で長生き

～健康寿命をのばす食事と運動のひけつ～

第4回社会医療法人川島会川島病院市民公開講座「元気で長生き～健康寿命をのばす食事と運動のひけつ～」が7月20日、徳島市のホテルクレメント徳島で行われた。

特別講演では、東京医科大学腎臓内科学講座の菅野義彦主任教授が、食事が体に及ぼす影響や食事のとり方などについて分かりやすく説明。続いて、栄養クイズや運動の効用についての講演や事例報告があった。講演などの要旨を紹介する。



川島 周
(社会医療法人川島会理事長)

開会のあいさつ

日本の平均寿命は世界でもトップだが、健康寿命との差が結構ある。これを何とか小さくせられたいかというのが、厚生労働省の重要なテーマになっている。

元気で長生きするためには、「よく食へ」「よく動いて」「禁煙する」とことだと思う。徳島県では、糖尿病で亡くなる人の数は年間1500～1600人だが、それと同じくらいの人々がたばこによるCOPD(慢性閉塞性肺疾患)で亡くなっている。

今日の講演を、健やかに人生を送るために役立てていただければありがたい。



水口 潤
(川島病院院長)

講演のあいさつ

食事と運動は、健康生活を送る上で基本となることは皆さんご存知だと思ふ。

川島病院では、腎臓・心臓・糖尿病は、いずれも生活習慣に関わる疾患だと考えている。そのようなことを踏まえて、今回のテーマを設定した。

食生活や運動などについての講演のほか、栄養クイズ、事例報告と内容は盛りだくさん。講演を楽しんでいただき、今後の生活習慣・健康づくりにお役に立てることを祈念している。

特別講演

食生活と身体のかかわり



菅野 謙彦氏
東京医科大学 腎臓内科学
講座主任教授

食事は本来、人間以外の動物では体に必要なものを食べるものだが、人間だけは他に意味付けしている。テレビや雑誌には、必ずと言っていいほど食の話題が取り上げられ、旅行の関心事のトップもグルメ。お正月のイベントにしても、おせち、お雑煮、年越しそばなど食事と生活は切ってもきれない関係にある。

このように日本人の心や文化として重要視される食事だが、食べ物はそのように体の中で消化吸収されるのか。

以前は食べたもののカスが糞便として排出されると考えられてきたが、ある実験により、食べたものは体全体に吸収されている場所が体の一部になることが分かった。食べ物は体に密接に関わっているといふことだ。

食生活と身体のかかわり

食生活と身体のかかわり

食生活と身体のかかわり

食生活と身体のかかわり

健康クイズ
知って得する
栄養クイズ
〜健康は毎日の食事から〜



原 恵子
川島病院 管理栄養士

いつまでも健康で暮らすために欠かせないのが食事。その食事についてのクイズで正しい知識を身につけてほしい。

問1、糖質ゼロ食品はゼロカロリーなので安心である。

答× 糖質はゼロだがカロリーはゼロではない。栄養成分表示を参照することが大事。

問2、揚げ油よりフライの方がカロリーが高い。

答○ フライの方が揚げ油は多くなる。揚げ物のカロリーを減らすコツは、マ食料を大きく切るマ衣を薄くつける。水分の少ない食材を選ぶ。



ライフステージに合わせて、安全なものを選ぶこと。そして自分にとりだけのカロリーが必要かを知ることだ。何カロリーも摂ればいいのかは、指標が出ているので、栄養士などに聞いて情報を得てほしい。

食事療法をする際は、自己流は避け、無理をしないことも重要だ。そして、専門家である管理栄養士に必ず相談してほしい。

食事療法を続けるのはつらいこともあるだろう。だが、自分の食生活を改善することは、家族の生活習慣も変えることになる。くじけそうになったら、かわいい孫やひ孫の顔を思い浮かべて、続けてほしい。

問3、豆腐はカロリーが低いのでいくら食べてもよい。

答× 豆腐は300g、1g、体に良いものでも量には注意が必要。

問4、クッキーよりせんべいの方がカロリーが高い。

答○ 種類にもよるが、せんべいは意外に高カロリー。

問5、夏バテにはさるそばよりそうめんがよい。

答× そばにはビタミンB群が豊富。

問6、食品に表示されているナトリウム量は塩分の量のことである。

答× ナトリウムは塩分ではない。ナトリウム量に2.5をかけることで塩分量になる。

問7、ポン酢は塩分が少ないのでいくら使ってもよい。

答× 大さじ一杯に塩分が1.5g含まれる。つけながら食べることで塩分が減らせる。マコからは30%減。

問8、しらたひの原材料で一番多いのは、小麦粉。

答× 小麦粉は多く含まれる。原材料表示されている。

問9、食物繊維が多いのは、野菜よりも海藻。

答× 海藻類は食物繊維が豊富。食物繊維の効果はコレステロールを下げる、血糖値を下げるなど。

問10、食物繊維が多いのは、野菜よりも海藻。

答× 海藻類は食物繊維が豊富。食物繊維の効果はコレステロールを下げる、血糖値を下げるなど。

健康寿命を延ばすため、食品を買うときは必ず表示を見て選ぶようにし、海藻と野菜をたくさん食べることを心がけてほしい。



ストレッチ＆ミニ演説おどり公演
(横茶平)





2013-2014 Photo Report



写真で見る川島ホスピタルグループ行事

- 健康・福祉フェスタ 2013.11
- 徳島ヴォルティス 2014.3
- 慰安旅行
 - ・ベトナム 2014.8
 - ・サイパン 2014.5
 - ・東京 2013.9
 - ・大阪 2012.10
- とくしまマラソン 2014.4
- 同波踊り 2014.8
- パーパキュー 2014.7
- 忘年会 2013.12
- 総会 2014.8

市民公開講座



島 健二
川島病院名誉院長

健康やかに
老いるために

人の切なる願望は「長生きをする」と「健康やかに老いる」ことだろう。健康やかに老いるためにどうしてもなりたくないと思うのが、寝たきりと認知症ではないか。

どうして寝たきりや認知症になるのか。一つは血管障害が大きく関わっている。では、なぜ血管障害になるのかというと、糖尿病や高血圧が影響している。そのもとになるのが肥満、メタボリックシンドロームということになる。

メタボを解消することが認知症や寝たきりを予防することにつながる。メタボの解消には正しい生活習慣、すなわち食事と運動が大事になる。

運動をすると、血糖と脂質が改善され、筋肉の増強につながる。女性の寝たきり原因は骨折が多いので、運動をし



て筋力をつけることが大切だ。運動は、無理せず、継続的にやるのが非常に大事だ。日々の生活のリズムの中に運動を取り入れてほしい。

いつでもどこでも一人でできる運動といえば、歩くこと。千歩歩くと三十歩はのエネルギーを消費する。これを毎日1年続けると脂肪1kg分になる。脂肪解消のためには、毎日二十分は歩いてほしい。減量のためだけでなく、脚力保持のためにも続けてほしい。

思み難い認知症だが、最後に、違う側面もあるのではないかと話をしてほしい。私の母は94歳で亡くなったが、晩年は認知症だった。転倒して上腕骨を骨折し、上腕切斷を余儀なくされたが、自分の腕がなくなっているのを自覚することもなく、また、その後には遺言した息子の死をもちやんと認識せず、悲しかるべき出来事を懐嘆することなくやり過ごした。その穏やかな母の姿を見て、認知症にも救いがあるのではないかという感じを抱いた。

市民公開講座 プログラム

- ◆ 糖尿病いせつ
川島 健二
社会福祉法人川島会理事長
- ◆ 糖尿病いせつ
水口 誠
川島病院院長
- ◆ 糖尿病講座
野間 喜彦氏
東京医科大学附属内科学講座
主任教授
- 原 麻子
川島病院管理栄養士
- ◆ 体操/ストレッチ
新井 平
ストレッチもふ二同会会より会長
- ◆ 総会
島 健二
川島病院名誉院長
- ◆ 事例報告
野間 喜彦
川島病院糖尿病科部長
- ◆ 閉会

糖尿病の人が運動する効果には、短時間の血糖値が下がったり食後の上昇を抑えたりでできる急性効果と、筋肉が増えたり基礎代謝が高まったりインスリンの働きがよくなって動脈硬化を予防したりする慢性効果がある。

川島病院では、この春、川島病院から徳島中央公園まで約3kmを歩くイベントを行った。休憩を取りながらゆっくりと歩いたが、歩く前と後では、参加者全



事例報告

運動を楽しむ
糖尿病生活



野間 喜彦
川島病院糖尿病科部長

員の血糖値が下がっていた。マラソンを楽しむ糖尿病患者も多い。ことしの徳島マラソンでは、5分おきに血糖値を測ったが、マラソン中は良好に保つことができていた。

糖尿病患者でもマラソンのような激しい運動はできる。ただし、その際にはドクターに相談して、必ずメディカルチェックを受けることが必要だ。

ドクターの指示に従って、その運動に合わせて食事や薬を調整すれば、いろんな運動ができる。ぜひ、運動を楽しんでほしい。

健康・福祉フェスタ

川島市立川島 志郎

Health & Welfare FESTA



鼓笛隊「ブルーリバー」による演奏



川島市理事長 辻野

2013年11月10日(日)第16回川島病院健康福祉フェスタが開催されました。
実行委員長挨拶にて、私が開会宣言をした直後より雨が上がり、11月にしては暑く、少し汗ばむ陽気となりました。
メインステージでは、和太鼓演奏を皮切りに、鼓笛隊バンド、Coral Music倶楽部、ギターデュオによるコンサートなどたくさんのお客さんがフェスタを盛り上げてくれました。続いて、「当地ヒーロー」兼道神マツエルによる歌謡ショー、シチュクランによる華麗なベリーダンスがありました。また、もはやフェスタに欠かせなくなっていますね。そして今年も田岡病院院長吉岡一夫先生による、AED講習・救急処置模擬演習があり、みなさん真剣に耳を傾けていました。病院内では各科の先生方による健康相談コーナー



がありました。診療ではないので、こちらには少しリラックスしてお話ができたようです。提携店は減速うどんが新メニューとして登場、地産グルメコーナーでは、昨年より多くの方に楽しんで頂けるよう種類や品数を増やし、食いついては例年以上に好評でした。健康コーナーやお楽しみ抽選会もあり、こちらも大盛況でした。
最後は、徳島が誇る阿波踊り、振茶平運の踊りとお慶子がフェスタを締め切ってくれました。
天候に恵まれ、本当にたくさんのお客さんに来ていただくことが出来ました。第17回となる今年も新しい企画を検討中です。お楽しみに。



徳島の餅つき



健康相談コーナー



振茶平運 阿波踊りの披露



振茶平運による阿波踊り



ぜんざい・フルーツなど様々な催し店が出店しました。



地産グルメコーナー



模擬店



お茶室



ゲームコーナー (ボールすくい)



AED講習会



スタンプラリー



日頃より徳島ヴォルティスをご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

我々、徳島ヴォルティスにつきましてこの場をお借りして、クラブの歴史と現在について紹介をさせていただきます。徳島ヴォルティスは1955年に創設された大塚製薬サッカー部を母体としております。チームの強化とともにJSL、JFLと歩みを続け2004年にJリーグ参入を目的として自治体、県内企業様からの出資をいただき運営法人を設立、2005年からJ2に参入しました。Jリーグ参入にあたりましては徳島県ならびに「とくしま」リーグ推進協議会の皆様方をはじめとする多くの方々のお力添えをいただき、四国初のJリーグチームとして「徳島ヴォルティス」が誕生しました。

J2参入後は3年連続最下位という厳しい時期もありました。徐々に力をつけ2011年には惜しくも4位でJ1昇格を逃しましたが、昨シーズンは2年目となる小林監督体制のもとリーグ戦で4位となりプレーオフに進出。準決勝と決勝の2試合を勝ち抜いてのJ1昇格を果たすことができ、クラブ創立10年目という節目の年となる今シーズンを四国初のJ1クラブとして日本のトップリーグを舞台に戦っております。

Jリーグは1993年に10のクラブでスタートしました。年を重ねるごとにクラブ数が増え1999年シーズンよりJ2リーグが創設され、地方にもJリーグクラブが誕生しました。ただ、クラブ間の格差も非常に大きくなりつつあり、カテゴリーを上げていくことは本当に難しくなっています。

実際に2000年以降に多くのクラブがJ2リーグに参入していますが、その中からJ1昇格を果たしたのは我々徳島ヴォルティスが2つ目のクラブとなります。もうひとつの昇格クラブは、横浜FCとなりますので、地方のクラブとしては初めてのことです。

Jリーグの理念は日本サッカーの水準向上や普及促進だけでなく、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与や国際社会における交流及び観客への貢献が掲げられています。Jリーグの誕生から20年が過ぎた今シーズンは、J1、J2、新設されたJ3の3つのカテゴリーで36都道府県にサッカーファミリーの輪が広がり、51のクラブが存在することになり深みを増してきています。我々、徳島ヴォルティスはJリーグの理念のもと、スポーツを通して世代を超えた触れ合いの輪を広げ、スポーツを創って参加し、楽しむことで、県民の皆様に、より愛されるクラブを一つと目指しております。20年、30年と続く「わが街徳島のクラブ」として県民に愛され、地域の誇りとなるチームづくりができるよう努力を続けていくことが非常に大事だと感じています。

我々のこれまでの歴史、歩みは本当に多くの皆様を支えられ、そして幾多の壁にぶち当たり、それを乗り越えてきた歴史です。水の中に入らなければ水の冷たさはわからないといいますが、日本のトップリーグであるJ1の戦いは本当に難しいものとなっています。しかし、小林監督以下スタッフのもと、チームは試合を重ねることに着実に成長してきています。

今年はワールドカップイヤーということで1か月半の中断期間があったため、チームは沖縄キャンプを6月20日～28日の9日間実施し、リーグ戦再開に向けて準備をしました。ここから更にステップアップし、この苦しさを乗り越えてJ1定着ができるよう後半戦は巻き返しを図っていきます。そしてチームの頑張りを後押しできるよう、もっともっとたくさんの人々にスタジアムに足を運んでいただけますようお願いいたします。皆様の熱いご声援がクラブの力となりますので、今後とも徳島ヴォルティスをよろしくお願いたします。

ヴォルティス社長 新田成一郎



川島会は徳島ヴォルティスの オフィシャルスポンサーとなりました。



平成25年12月8日、徳島ヴォルティスは悲願のJ1昇格を果たしました。

平成25年12月8日、徳島ヴォルティスは悲願のJ1昇格を果たしました。国立競技場には徳島からかけつけたサポーター、東京近郊に住む徳島出身の方や旅人まで、本当に多くの人々が声援を送りました。

徳島でスポーツのトップリーグの試合を毎週観戦できる。こんな事は一昔前には考えられませんでした。私の少年時代には、徳島からプロ野球観戦に行くという事は、一つの憧れであり、実際テレビで見ることができないイスター選手を目の当たりにした時の興奮や感動は、今でも覚えていることができません。

さて昇格を果たした今期、チームは創設10周年を迎えて新たなステージで戦っています。前半戦はJ1の洗礼を受けたということでしょうか？ 得点につながるプレーを見る機会があまりありませんでした。しかしW杯による中断明けの後半戦は、昨年のような巻き返しに期待したいと思えます。そしてそのフットボール杯には、かつてチームに在籍していた徳島県一門選手が出場、ドゥンビ(ア選手)・ロータ(ボワール)が最終候補に選出されました。

地域愛着を掲げ誕生したJリーグは、20年を経て、この場に我々にとって身近に感じられるようになりまし

た。ファンやサポーターではなくても、試合の結果などを少なからず知ることがあるでしょう。時には選手のフライングに連判することもあるかもしれません。

わが社会医療法人川島会川島病院は、数年前よりシーズン前に選手のリハビリチェックを一部担当しています。そして今シーズンからは、オフィシャルスポンサーとしても、徳島ヴォルティスをサポートさせていただきますことになりました。ヴォルティスは今後も様々な状況に直面し、多くのことを乗り越えていくでしょう。徳島にあるヴォルティスは、アジアそして世界で通用できるチームになれるよう、われわれもサポーターとして、長く応援していきたいと考えています。

広報委員/川島友一郎





SAIPAN



ベトナムの民族衣装、アオザイを着た女性たち。思わず写真に撮りました。



メコン川クルーズに出発。この時点で気温はかなり上昇して暑かったです。



小さな川を絶妙な距離まで通んでいきます。



生ものには注意でもやっぱり食べたい。生野菜も、お好みで食べていただきます。



フォーはライムやワウチーを入れて自分好みの味に変えていただきます。



サイゴン大主教堂前、近代的なゴシックの調で眺めが気持ちよくなりました。

H26年度慰安旅行
サイパン
1班 5/14~17 16名
2班 5/21~24 8名



H25年度慰安旅行
東京ディズニーランド
9/8~10 11名



第一会堂の前にはベトナム戦争の歴史を物語るような展示が用意されています。

H26年度慰安旅行
ベトナム
1班 4/16~19 16名
2班 4/23~26 18名



第一会堂(巨大な鐘の音)前にて。



この日は雨でした。この交通量の中をよけながら通る必要があります。



OSAKA

H25年度慰安旅行
ユニバーサルスタジオジャパン
10/27 17名

VIETNAM

慰安旅行

今年度の川島病院慰安旅行はベトナムとサイパンへ各2班に分かれて多数の職員が参加しました。

私はベトナム旅行1班に参加しましたが、彼島島の最高気温が15度の時に到着したベトナムは35度と非常に蒸し暑く、立っているだけで汗ばむほどでした。また到着早々、目にしたホーチミンの街中はバイクの交通量が半端ではなくとも驚きました。

休憩もそこそこ全員で出かけたレストランではベトナムグルメを堪能し、お酒も入ってか他国種間での話もははずみ楽しい時間を過ごしました。

ベトナム戦争での悲惨な経験を語り継ぐ資料館や戦争跡地を巡り、歴史を学んだ後は賑わふれるペンタイン市場へ、素朴でかわいいたベトナム雑貨に思わず財布のひもがゆるんでしまいました。

自由行動の日にはメコン川へ出かけジャングルクルーズを堪能。ベトナムでは暑いながらもあまり止まってくれないので車やバイクを避けながら道沿いを歩くと、スリリングな体験もしました。

広報委員 三好 友美

とくしまマラソン2014 奮闘川島病院遊走会

高橋真一 撮影

今年度、川島病院遊走会では15人のランナーが完走する事ができました。去年とは変わりの曇天の中での「とくしまマラソン」は折り返し過ぎたころの心配もありました。そのようなランナーを励まし、支えて下さったスタッフの皆様、応援やお接待をしていただいた皆様、本誌にありがとうございます。最後には心に虹がかかった「心に深く通る大会」となりました。私たちは、今大会の成果や反省点を踏まえ、今後もKind（優しい）、Honest（誠実な）、Grow（伸びゆく）「進化する」遊走会となるよう尽力いたします。本誌にぜひ掲載をお願いします。



徳島マラソン2014に 初参加させていただきました。

なぜ出場してみようかと考えたのかというと、川島病院に入職し、遊走会の存在を知ったのがきっかけでした。もともと、体を動かすのは好きだったので、どんな雰囲気なんだろうかと思い、昨年、応援に行ってみました。そこで、先輩のがんばっている姿を見て、ゴールするときの充実感はずいぶん感じ、来年は参加してみようかと考えました。

そのころから、週に1回程度のランニングを始めました。当初4~5キロくらいをゆっくりと走り、気が向いたときに10キロ程度を週末に走りました。出場するために練習を増やし始めたのは、エントリーした4ヶ月前からでした。そのころから、練習は週に2~3回ほど行い、月に一回は20キロ以上を走破する事を心がけました。練習する上で意識していたのですが、走りっぱなしが単調な練習にならないよう、股々とペースを早くしていくビルドアップ走や、速いペースと遅いペースを繰り返すインターバル走など工夫しながらトレーニングしました。

また、いきなりフルマラソンに出るのは不安もあったので、一ヶ月前に吉野川市リバーサイドハーフマラソンにも参加しました。初参加ということもあり緊張しましたが、そのおかげで徳島マラソンのときには大分緊張が少なく参加することができました。

今年は天気が良く、風も強くない涼しく気分良く走ることができました。後半には足もかなり重く、いっぱいいっぱいでした。そんな中でも応援に来てくれている方々を見かけるたび、もう少しがんばろうと気力がわき、最後まで走りきることが出来ました。ゴールの瞬間は予想以上に達成感が大きく、参加して良かったと思えました。

今年は4時間半をきる事ができたので、簡単ではないと思いますが、来年には4時間を切ることを目標に練習を続けていきたいと思えます。



臨床検査技師
酒井 誠人 MASAITO SAKAI
プロフィール
所属 検査室
生年月日 / 1988年6月24日
出身高校 / 徳島市立高校
出身大学 / 鳥取大学
趣味 / ゴルフ
好きな食べ物 / パスタ
好きな音楽 / 七転八倒

広報では酒井君の練習から大会参加までを追っかけ取材しました。

なぜ今回彼を取り上げたかといいますと、遊走会の練習会で四国三郎橋から鳴門の大瀬まで(30キロくらい)かるく走っていくつわものだったH社の職場での業務を真摯に取り組む姿勢を感じて彼を取材しようと思いました。

とくしまマラソン2014の一ヶ月前に開催されました吉野川市リバーサイドハーフマラソンで、酒井君は初参加で2時間を切り、余裕のゴールでした。

大会本番、酒井君のスタートは後方10000番代だったのですが、風を切るように他のランナーを追い抜き見事に初参加で4時間半のタイムをたたき出しました!!

酒井君はKHGの期待の新星です☆





優雅な女踊り



勇壮な男踊り



阿波踊り

徳島県が誇る一大イベントである阿波踊り。発足4年目となる川島病院連は今年も演舞場に踊り込みました。例年通り4月よりリハビリ室に根茶平さんをお招きし、練習を重ねました。有料演舞場で踊るため、練習時からみんな真剣です。川島病院連は外国からの参加もあり、総勢118人での参加となりました。

徳島市内の阿波踊りは8月12日〜15日の4日間。川島病院連は3日目の8月14日に豊後浜公園、船屋町の2つの演舞場に踊り込みました。根茶平の踊りものを先頭に川島理事長率いる医師の男踊り、その後にかわい子子供法被、優雅な女踊り、番太の男踊りと続きます。

普段の忙しい仕事から離れ、みんなで丸と交えて参加した阿波踊り。踊り終わった後は皆達成感で溢れた表情を見せてくれました。

川島病院では最高の医療を提供し続けていくことはもちろん、来年の阿波踊りにも参加する予定です。

医師職員も踊る阿波踊り



忘年会

2013年12月15日 ホテルクレメントにて KHQ忘年会が催されました。

乾杯、新人紹介と続き、お食事も進んだ頃、お楽しみの食舞スタートです。ステージ上ではAKB48やモモクロの歌とダンスが踊り、会場は大盛り上がりとなりました。最後はお持ちかね、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会でまたまた盛り上がりました。

広報委員/大西 美佐子



余興



新人医師紹介



院長乾杯



懇親会始めました

忘年会や阿波踊りなど、楽しむことが大好きな川島会ですが、これまでは特にイベントのない月もありました。そこで、今年度より職員との親睦を目的とし、イベントのない月には懇親会を行うことになりました。

お困りイベントでは楽しめないだろうという知恵を絞り、こんなコンセプトで開催しています！

- 時間内出入り自由！何時に来て何時に帰ってもOK!
- 当日急に来ても、逆に急に来れなくなっても連絡不要！自由に参加できます！
- 参加費無料！好きなものを好きなだけ食べ放題、飲み放題！

初めての試みでしたのでのどくらいのスタッフが集まってくれるか不安でしたが、第1回、第2回とも100人前後の職員が集まり、大盛況でした。これからもただただ、職員同士が親睦を深め、楽しむためのイベントとして開催していきます。

広報委員/前田 謙



四国三郎の郷で BBQ 7/6

川島病院では新入職員、在職中の職員やその家族との親睦を深める事を目的に毎年バーベキューを行っています。徳島市の大自然の中にある、四国三郎の郷で7/6、BBQが行われました。今年の参加者は過去最高150名!! 家族参加も多く、子供たちが元気いっぱい走り回る姿が印象的でした。みんなで協力しながら準備をしていく中で、普段関わりの少ない方たちとも自然と会話がうまれ新しい繋がりができたように思います。自然に囲まれた中で仲間たちと食べる食事はとってもおいしかったです。お酒もいっぱい、心もリフレッシュできました。また来年も、多くの方々と一緒に、参加できますように。

広報委員/横山 美穂



主たる行事 / 2013年9月~2014年8月

2013	9月	広報誌11号発行 第5回川島病院病勢追悼会 職員親睦旅行・国内(8月~10月)	
	10月	「川島産科クリニック」起工式	
	11月	第16回健康・福祉フェスタ	
	12月	忘年会	
2014	1月	防災訓練	
	2月	第12回川島ホスピタルグループ震災対策会議	
	3月	KHG研究・活動テーマ発表会	
	4月	入職式 職員親睦旅行・海外(4月~5月)	新入職員オリエンテーション 歓迎会 とくしまマラソン
	5月	懇親会	
	6月	懇親会	
	7月	第4回市民公園講座 職員親睦バーベキュー大会	
	8月	川島病院遠 阿波踊り参加	
	8月		

川島病院に免震体験車がやって来ました。6/12

この車は震度7クラスの地震と、さらにその免震バージョンが体験できます。なんと、日本に2台しかない車だそうです。

さて、早速体験してみました！まず、免震をしていないバージョンの地震です。



※震度7クラスの地震(左)と、さらにその免震バージョン(右)の体験の様子



という感じでグラグラ揺れ始めました。直下型地震の再現でしたので、その特徴のようですね。手すりを持って必死に倒れないように踏ん張っています。もし、日常生活の中でこんな地震に遭遇したらと思うとゾッとします。

次に同じ地震の免震バージョンを体験しました。

……ん、これは??
なんと表現したらいいのかわかっていたら、船のような、ゆりかごのような揺れと説明がありました。ゆりかごの揺れ、まさにそんな感じの揺れでした。目の前に置かれた水もほとんど波打ちません。ほんとにさっきと同じ地震かな?という感じです。驚きの効果があるのに、リアクションが取りづらいため写真はなしにします。

実は川島は新たに産科クリニックを建設中なのですが、そこにも免震の技術を取り入れています。免震構造というと平たく言うと、ゴムの上に建物を建てて、地震が起こるとゴムが揺れて、建物揺れないということのようです。



実際の免震ゴムがこちら。この上に新しいクリニックが建ちます。

広報委員 / 藤田 節

川島ホスピタルグループ 2013年資料編

広報委員 / 大西 美佐子

プロフィール

医師・職員取得資格

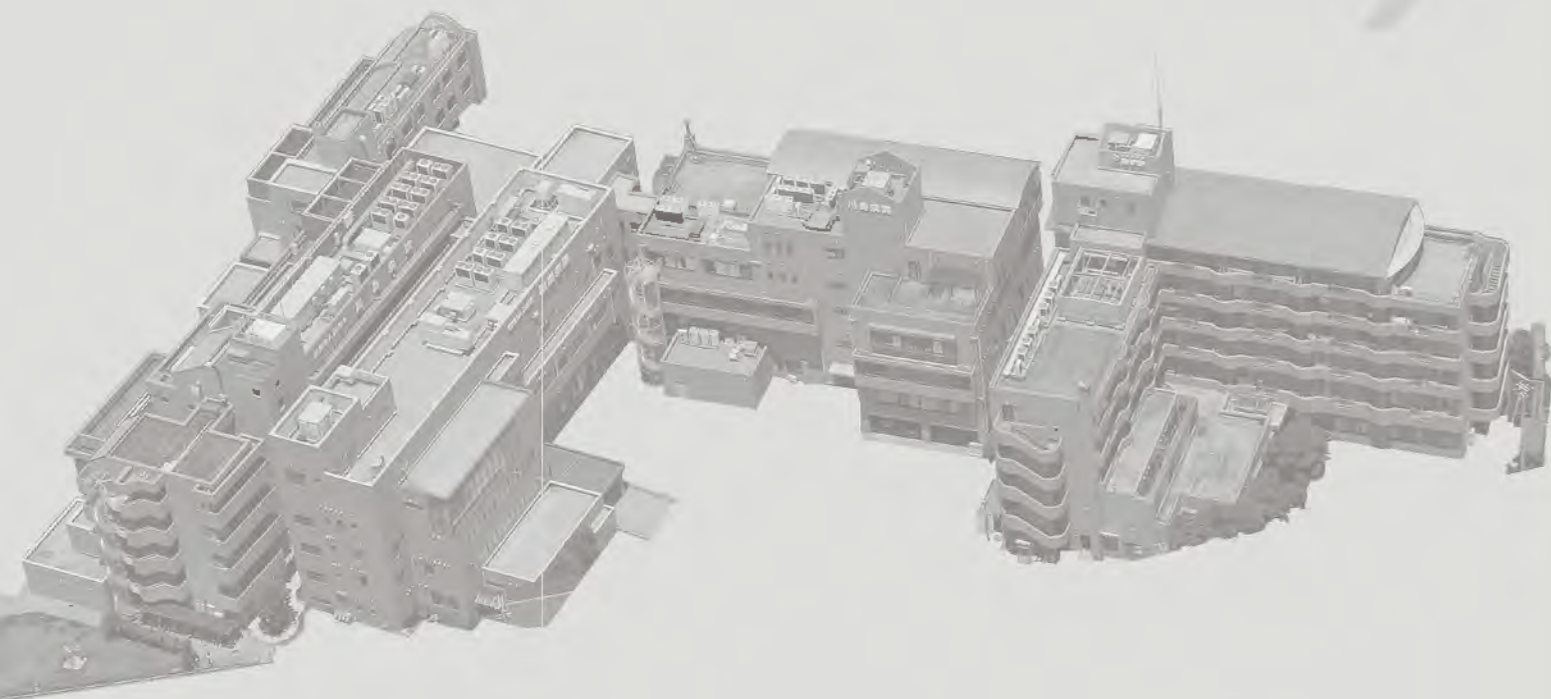
医師・職員院外団体等役職

職員数

座長、司会等

診療統計等

治験、製造販売後臨床試験、疫学調査



BEST SHOT

今年の1枚

写真・川島 周



昨年の秋、
ブラジル・フォルタレザで開催された
会議に参加しました。
ホテルの隣では今年W杯の会場となった
カステロンスタジアムが
建設中であったのを覚えています。
楽しそうなカップルの様子が目にとまり
ホテルのプールサイドから撮影しました。

川島周

中川 順二	病院管理士
松平 敏秀	病院管理士
宮島 彰子	診療情報管理士、病院管理士
原 雅子	診療情報管理士、病院管理士
辰巳 奈月	診療情報管理士
佐川 裕基	診療情報管理士
三橋 一人	福祉住環境コーディネーター2級

医師・職員院外団体等役職

川島 周	徳島県医師会長、日本医師会監事、全日本病院協会常任理事、徳島大学医学部臨床教授、とくしま移植医療推進財団理事長、徳島県医師国民健康保険組合理事長、社会福祉法人徳島県自殺予防協会理事長
島 健二	徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、日本病態栄養学会評議員、徳島県保険者協議会顧問
水口 潤	徳島大学医学部臨床教授、日本移植学会評議員、日本腹膜透析医学会副理事長、日本透析医学会理事、四国透析療法研究会副会長、徳島透析療法研究会会長、NPO法人日本HDF研究会理事、NPO法人日本アクセス研究会理事、VAIVT研究会幹事、ハイパフォーマンスメンブレン研究会世話人、徳島透析医会会長、日本臨床腎移植学会評議員、日本臨床工学技士会理事
西内 健	徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員
土田 健司	徳島大学医学部臨床教授、日本エンドトキシン研究会世話人、NPO法人日本HDF研究会評議員、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会幹事、日本透析医学会評議員、NPO法人日本腹膜透析医学会評議員・監事、NPO法人日本アクセス研究会評議員、日本医工学治療学会評議員、徳島透析療法研究会幹事、徳島透析医会幹事、四国透析療法研究会幹事、二次性副甲状腺機能亢進症に対するPTX研究会世話人、在宅血液透析研究会幹事、高齢者腎不全研究会幹事、日本腎不全栄養研究会幹事
小松 まち子	徳島市医師会糖尿病対策委員会委員
板東 高志	徳島大学歯学部臨床准教授
野間 喜彦	日本内科学会四国支部評議員、日本臨床検査医学会中国四国支部評議員、日本糖尿病対策推進会議徳島県担当委員(日本糖尿病学会担当委員、日本糖尿病協会担当委員)、徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島大学医学部非常勤講師、日本糖尿病協会徳島県支部理事
宮 恵子	徳島市医師会女性医師プロジェクト委員
上田 由佳	日本循環器学会四国支部評議員、徳島県心臓リハビリテーション研究会会計
大下 千鶴	徳島県立総合看護学校准看護学科講師・第一看護学科講師、徳島CDEJ会世話役、徳島糖尿病看護研究会幹事、徳島県看護協会ナースバンクプロジェクト委員、徳島県看護協会医療・看護安全対策委員
西谷 千代子	徳島県立総合看護学校准看護学科講師
数藤 康代	徳島腎不全看護研究会幹事、徳島透析療法カンファレンス幹事、日本腎不全看護学会透析療法指導看護師徳島県代表
志内 敏郎	日本腎臓病薬物療法学会評議員、徳島腎と薬剤研究会事務局、徳島県病院薬剤師会理事
松浦 香織	徳島県医療栄養士協議会幹事
久米 恵司	日本核医学技術会中四国部会理事
猪籠 浩司	徳島CT研究会世話人
谷 恵理奈	徳島心臓CT・MRI研究会世話人
田尾 知浩	一般社団法人徳島県臨床工学技士会副会長、徳島透析療法カンファレンス幹事
多田 浩章	徳島県臨床検査技師会生理検査研究班副班長、徳島心エコー図研究会世話人
大石 晃久	徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役
前田 さおり	日本障害者歯科学会四国地域障害者歯科医療推進協議会幹事

小谷 明子	日本腹膜透析医学会指導看護師、糖尿病療養指導士
宮下 めぐみ	日本腹膜透析医学会指導看護師
志内 敏郎	医療安全管理者、第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師、腎臓病薬物療法専門薬剤師
浜田 久代	日本糖尿病療養指導士、病態栄養専門師
原 恵子	日本糖尿病療養指導士
森 恭子	日本糖尿病療養指導士
松浦 香織	日本糖尿病療養指導士、健康食品管理士
大西 嘉奈子	日本糖尿病療養指導士、TNT-D管理栄養士
中條 恵子	健康食品管理士
多田 浩章	日本超音波医学会認定超音波検査士(循環器、血管)
赤澤 正義	放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
久米 恵司	放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
猪籠 浩司	日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
谷 恵理奈	第一種放射線取扱主任者
足立 勝彦	医用画像情報管理士
田尾 知浩	透析技術認定士
播 一夫	透析技術認定士
原 俊夫	透析技術認定士
萩原 雄一	医療安全管理者
細谷 陽子	透析技術認定士、透析技能検定試験2級
廣瀬 大輔	透析技術認定士
数藤 敬一	透析技術認定士
清水 一郎	透析技術認定士
成瀬 裕深	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
中野 正史	透析技術認定士
東根 直樹	透析技術認定士
英 理香	透析技術認定士、透析液水質管理責任者、3学会合同呼吸療法認定士
来島 政広	透析技術認定士
森 浩章	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
露口 達也	透析技術認定士、福祉住環境コーディネーター2級
道脇 宏行	透析技術認定士、透析液水質管理責任者
鎌田 優	透析技術認定士
田中 悠作	透析技術認定士
岡田 大佑	透析技術認定士、透析技能検定試験2級
相坂 佳彦	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
西内 陽子	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
玉谷 高広	介護支援専門員(ケアマネージャー)、徳島県糖尿病療養指導士、健康ウォーキング指導士、公認ウォーキング指導者、福祉住環境コーディネーター2級、社会福祉主事
前田 さおり	嚙下トレーナー歯科衛生士、認定歯科衛生士(認定分野B:障害者)
高石 和子	嚙下トレーナー歯科衛生士
山崎 明香	嚙下トレーナー歯科衛生士
田村 祐季	嚙下トレーナー歯科衛生士

外来患者延数 45,155名(43,509)

歯科患者延数 9,677(9,324)

入院患者延数 32,160名(31,592)

新入院患者数 1,820名(1,622)

血液透析患者数(3月31日現在)

川島病院	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック
593名(569)	140名(141)	117名(123)
脇町川島クリニック	在宅透析	合計
86名(64)	2名(1)	938名(898)

新規導入数 75名(54)

延べ回数

川島病院	鴨島川島クリニック	合計
91,842回(91,051)	20,638回(21,362)	
鳴門川島クリニック	脇町川島クリニック	142,189回(139,815)
17,864回(18,428)	11,845回(8,974)	

腹膜透析(CAPD)患者数

患者数/86名(70)(3月31日現在)

新規導入数/28名(18)

腎移植患者数

患者数/52名(50)(3月31日現在)

主要・処置検査件数

GIF(上部消化管内視鏡)/704件(779) ●CF(下部消化管内視鏡)/110件(97) ●嚥下内視鏡/41件(43)
 ●膀胱鏡/149件(126) ●CT(冠動脈を除く)/3,571件(3,173) ●MRI/1,055件(928) ●RI/728件(731)
 ●うち紹介/556件(514) ●骨密度/773件(771) ●冠動脈CT/439件(354) ●心カテ/159件(143)
 ●心エコー/2,260件(2,210) ●その他のエコー/1,443件(1,065) ●腎生検/28件(41)

手術件数

手術総数/1,363件(1,301) ●泌尿器・一般手術/254件(199) ●結石破碎(延べ)/101件(199)
 ●シャント手術/388件(378) ●シャントPTA/275件(247) ●CAPD/40件(38) ●PTCA/247件(186)
 ●ペースメーカー植え込み/19件(18) ●下肢PTA/39件(36)

栄養指導件数

指導件数/3,156件(3,332)

職員数 2014年4月1日現在 注:()内は2013年4月1日現在

社会医療法人川島会 常勤職員総数 392名(381)

●常勤医師23名(22)	●歯科医師2名(2)	●非常勤医師46名(47)	●非常勤歯科医師2(3)
●看護師101名(103)	●准看護師22名(15)	●パート看護師2名(2)	●パート准看護師1名(3)
●看護助手62名(61)	●薬剤師11名(11)	●管理栄養士6名(6)	●臨床検査技師7名(9)
●放射線技師10名(10)	●臨床工学技士45名(43)	●理学療法士6名(6)	●歯科衛生士4名(5)
●歯科助手1名(1名)	●医事診療情報課27名(25)	●総務16名(17)	●クラーク22名(18)
●庶務18名(18)	●訪問介護員9名(9)		

社会福祉法人飛鳥 常勤職員総数37名(37)

●施設長1名(1)	●管理者3名(3)	●介護支援専門職員4名(5)	●看護師3名(3)
●介護職員10名(10)	●生活相談員2名(1)	●栄養士1名(1)	●事務員2名(1)
●サービス提供責任者2名(2)	●訪問介護員11名(9)	●医療ソーシャルワーカー2名(1)	

座長、司会等/2013年1月~12月

水口 潤	徳島透析療法研究会講演会	座長	1月17日
	第18回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会	座長	3月2日
	慢性腎臓病(CKD)啓発県民公開講座	座長	3月10日
	第28回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会	座長	3月16日
	第56回日本腎臓学会・総会	座長	5月11日
	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	5月31日
	第58回日本透析医学会学術集会・総会	座長	6月21日
	第58回日本透析医学会学術集会・総会	座長	6月22日
	川島病院市民公開講座	座長	6月30日
	徳島透析療法研究会 学術講演会	座長	7月2日
	第22回日本腎不全外科研究会	座長	7月5日
	第15回日本アクセス研究会 アクセスセミナーin郡山	座長	7月14日
	徳島県高リン血症治療研究会	座長	9月19日
	第17回日本アクセス研究会学術集会・総会	座長	9月21日
第19回日本腹膜透析医学会学術集会・総会	座長	9月28日	
第19回日本HDF研究会学術集会・総会	座長	10月26日	
第44回徳島透析療法研究会	座長	11月24日	
土田 健司	第11回日本高齢者腎不全研究会	司会	2月10日
	第18回バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会	座長	3月2日
	第11回川島ホスピタルグループ震災対策会議	座長	3月14日
	第15回日本アクセス研究会 アクセスセミナーin郡山	司会	7月14日
	第7回徳島PDネットワークセミナー	司会	8月4日
第17回日本アクセス研究会学術集会・総会	司会・コメンテーター	9月21日	
第44回徳島透析療法研究会	司会	11月24日	
道脇 宏行	第17回日本アクセス研究会学術集会・総会	座長	9月22日
	第19回日本HDF研究会学術集会・総会	座長	10月27日
志内 敏郎	第12回徳島腎と薬剤研究会	座長	7月9日
	第7回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会	座長	10月6日
数藤 康代	第32回透析療法カンファレンス	司会	11月26日
竹内 教貴	第3回中四国臨床工学会	座長	11月9日

編集後記

“今年の写真は、夕刻の川島病院で”

そうお願いしたら、この写真が届けられました。

毎年、広報誌のために多くの人のお世話になります。

自分の周りでかけられた時間と手間を、台無しにしてしまわないように

細部までゆきとどく何かが目立たずあるように

紙面のチェックをしながら

集まってきた原稿や写真や素材に囲まされています。

今年もありがとうございました。

日下 まき (広報委員長)



■糖尿病教室

平成25年6月22日	「糖尿病について話し合おう」	参加者8名
平成25年9月21日	「糖尿病について話し合おう」	参加者14名
平成26年3月15日	「糖尿病について話し合おう」	参加者8名

■高血圧教室

平成25年4月26日	「減塩のコツ(外食)」	参加者8名
------------	-------------	-------

■リハビリ件数

●個別 / 16,322件(14,741) ●消炎 / 141件(247) 合計 / 16,463件(14,988)

●ケアハウスあすか入居数	589件(597)
●デイサービス利用者数	6,881件(7,101)
●ヘルパーステーション利用者数	1,173件(1,209)
●在宅介護支援センター計画件数	1,952件(1,805)
●介護タクシー利用者(延べ)	734件(820)

診療、製造販売後臨床試験、疫学調査 / 2013年1月～12月

■治験

●川島病院 第Ⅲ相試験	4件
第Ⅱb / 第Ⅲ相試験	1件
第Ⅱ相試験	1件

■製造販売後調査

●川島病院	9件
-------	----